

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

国の責任で処遇改善を！ 介護フォーラム2015開催

1月11日、介護フォーラム実行委員会主催の「介護フォーラム2015」が全労連会館で開催され110人が参加しました。

記念講演は、聖徳大学の篠崎良勝准教授から「介護職の専門性を確保し、処遇改善を図るために」と題して話しがあり、東日本大震災での介護支援の状況を通して介護の専門性が強調され、介護の専門性を確保するためにも処遇改善が必要なことが語られました。

現場からの報告として、ケアワーカーやホームヘルパーの立場からの報告や、介護事業者からの報告が出され交流しました。

集会の最後に、「介護・障害福祉従事者の人材確保のための処遇改善と、医療・介護総合法の実施中止を求めるために、共同した運動を大きく発展させよう」の集会アピールを全体で確認しました。



篠崎先生も最後までパレードに参加

集会後、休日で賑わう秋葉原駅まで、沿道からの大きな声援も受けながら、元気にパレードを行いました。

介護をよくする東京の会

介護をよくする東京の会の14年度総会が、1月29日に開催され23人が参加しました。

相川事務局長から、この間の取り組み経過の報告と今後の取り組みの提案が出され、会計報告を含め全体で確認しました。

記念講演は、安達智則氏（健和会医療福祉調査室長）が「介護保険第6期事業計画と各地域での運動前進に向けた取り組み」と題して講演しました。

交流では、世田谷・足立区、国立市の介護保険の検討状況と地域での取り組みが報告され、全体で自治体に対する運動を強化していくことを確認しました。



国会開会日行動・院内集会

1月26日の第189通常国会開会日、国会請願デモ（350人参加）を行い、終了後に国民大運動実行委員会、中央社保協、安保破棄中央実行委員会の3団体主催の院内集会（160人参加）を行いました。

院内集会には、共産党新人衆議院12人をはじめ18人の衆議院議員がかけつけ、山下芳生参議院議員が国会情勢報告と激励あいさつを行いました。



安部首相は国会に対し、政治に関する基本姿勢を示す冒頭での所信表明演説を行わないという事態はきわめて異常です。このような国会軽視の姑息な態度は、総選挙前の臨時国会の時と全く同じであり、国民を愚ろうする態度を繰り返しているといわざるを得ません。

今国会の会期は、6月24日までの150日間と報じられていますが、悪法成立のため、大幅延長の可能性もあります。安部暴走政治にストップをかけるため、引き続き全力をあげましょう。

各地域・団体の取り組み

葛飾社保協

国の介護保険制度改悪をうけて、葛飾区は第6期介護保険事業計画案を提示しました。

地域支援事業の15年度からの実施は見送り、17年度からの実施を予定しているようですが、介護保険料については、基準保険料（月額）5180円から5950円と大幅な値上げ案が提示されました。

葛飾で10年ぶりに「高齢者のつどい」を開いた高齢者懇談会（準備会）は、1月31日に東京高齢期運動連絡会会長の金子さんを講師にお招きして結成総会を開催します。

準備会は、年金者組合、東京土建建長会、社保協、守る会、葛退教、生協「ふきのとう」、介護をよくする会などを中心に、日本高齢者大会に代表派遣などに取り組んできました。

総会では、講師の金子さんより高齢者の置かれている現状や歴史と課題について報告していただく予定になっています。

（社保協ニュースより）

渋谷社保協

渋谷区が、今年4月から実施する第6期高齢者福祉・介護保険事業計画案の住民説明会（12月10日、初台区民館）に、社保協から2人（福井会長、嘉瀬事務局長）が参加しました。

今後3年間の事業計画の概要が、区福祉部から説明され、認知症対策や地域包括センターの機能などの強化、地域支援事業について（介護保険からの移行は今年度は行わないこと）説明がありました。

1人暮らし、老々世帯の割合を聞いたところ、詳しく調査をしていないなど、高齢者対策に本腰を入れているのか疑問に感じました。また、概要説明のため、具体的なことにはなにも明らかにされませんでした。社保協としては、現行制度より充実した計画を要望しました。

12月渋谷区議会への請願行動では、消費税増税中止を国に求める請願を区議会に提出しましたが、共産党と2人の無所属議員以外の党派・議員の反対で不採択になりました。

なお、医療・介護総合法の廃止請願は、会派の意見がおりあわず継続審議になりました。

（社保協ニュースより）

練馬社保協

12月19日、7回目をむかえる練馬社保協が主催する「練馬なんでも相談会」が平成つじ公園で開催され相談者が22人もありました。

内訳は、医療相談が4件、76歳の男性には「大泉医療生協病院の無料低額診療、身障者手帳の取得」を紹介するも「希望もない、お金もない」という相談者。法律相談では、遺産相続問題など。

老後の問題や介護問題の相談も多く、「一人暮らしで心配」「一人で自分の老後が心配」「妻が入院しているが、次の受け入れ先を探すのが大変」などです。

当日は、練馬駅周辺で宣伝を行い、その場からそのまま相談会場に来る人もいるなど、深刻な生活実態が浮かびあがりました。この行動には、相談員や宣伝隊で52人が参加しました。

（事務局長 阿部 弘明）

国分寺社保協

国分寺社保協は、昨年「国民健康保険税の値上げ中止」を求める陳情署名に取り組み、3040筆を集約し市議会に提出しました。

「毎年、毎年なぜそんなに上げるのですか？消費税も上げられこれでは生活ができません」多くの市民から怒りの声が寄せられました。しかし、自民・公明・ネットなどの賛成で国保税は値上げとなってしまうました。値上げ幅は、夫婦・子ども2人収入498万円の世帯で3万円を超える値上です。しかし、この取り組みの中で今まで減らされ続けてきた国保会計への一般財源繰入を増やすことができず、

（社保協ニュースより）



冬と年越しプロジェクト

12月27日から4日をメイン期間として、「ふとんで年越しプロジェクト2014」が開催されました。

年末年始の役所の閉庁期間は、福祉事務所等の窓口が閉まります。住まいを失うなど困窮しても相談する場所がなく制度が利用できません。今年は特に閉庁期間が長く、対策を必要としました。

27日から、路上生活者支援団体が都内各地で行っている炊き出し等の取り組みのうち、池袋・渋谷・新宿・山谷と連携して、シェルター開設を中心とした支援を実施し、連日のシェルター利用者訪問と生活再建に向けた相談活動を行いました。シェルターの利用者は約30人にのびりました。

プロジェクト代表の大西連氏（もやい理事長）は、「今回の利用者の特徴は、女性が多い。また、知的障害がある方は2割以上で、精神疾患がある方が3人に1人以上いた。本来ならば路上ではなく、様々な福祉施策で支えられているはずの人が色々な事情で路上に出ている。路上に取り残されている実態が明らかになった。」と話しました。
シェルター開設とともに、池袋・

渋谷での医療福祉相談会も行われ、相談会には東京民医連から21人のべ28人の医師・看護師・事務のボランティアが参加し、訪れた方に対して相談活動を行いました。

年始あけの5日からは、福祉事務所申請の同行を行い、社会資源の利用につなげていきます。

（東京民医連 椎野 綾）



東日本介護保険運動交流集会

日時：2月11日（水）10時半～
会場：建設プラザかながわ2階会議室
講演：林 泰則
（全日本民医連事務局次長）
★各地の取り組み報告と交流
日下部雅喜（大阪社保協介護対策委員）
主催：社保協関東甲ブロック

— いのち・暮らしまもれ —

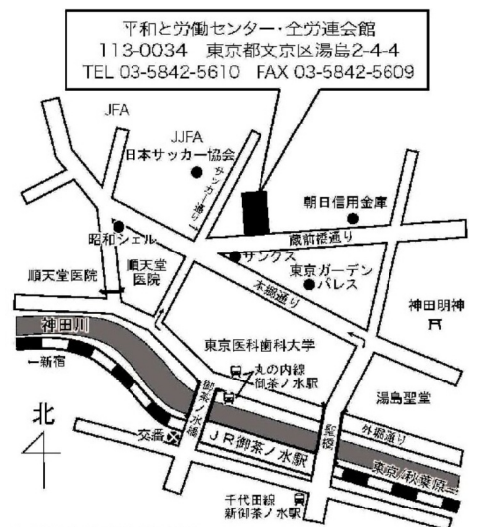
安全・安心の医療・介護大運動東京集会

日時 3月29日（日）13時～16時45分（予定）

会場 全労連会館2階ホール

基調講演 芝田英昭
立教大学教授

集会は講演とシンポジウム形式で開催します



◇JR御茶ノ水駅から徒歩8分
◇地下鉄御茶ノ水駅から徒歩7分
◇地下鉄本線(三丁目駅)から徒歩12分

主催：安全・安心の医療・介護大運動東京集会実行委員会

第45回東京社保協総会

日時 2015年3月1日(日) 10時~4時30分

会場 けんせつプラザ東京

加盟各団体から2人以上の参加を
総会参加者には弁当を用意します

10時から学習会開催

参加無料

学習会のみ
参加も歓迎!

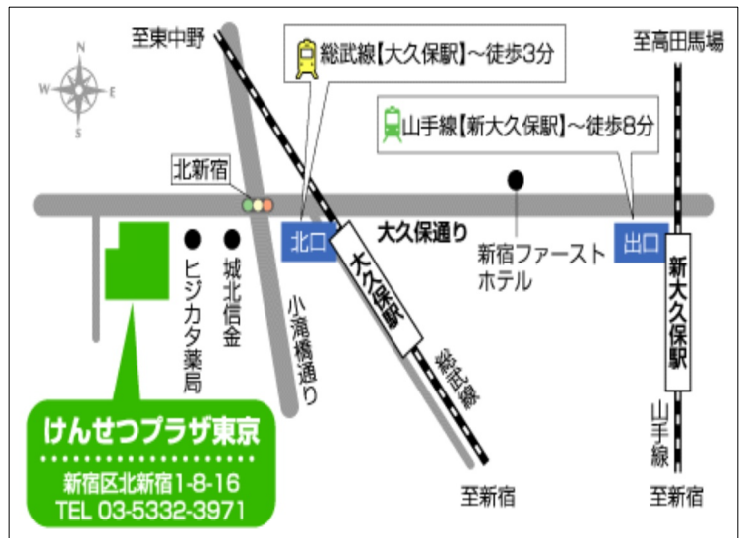
社会保障改革の現段階を検証する



講師

芝田英昭

立教大学教授



第45回東京社保協総会 参加申込書 2015年 月 日

締め切りは2月25日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	学習会のみ 参加は○	参加者氏名	学習会のみ 参加は○

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823